令和７年度　会派議員派遣報告書

会　派　名	みらい
議　員　名	宮垣秀正、中迫勇三、松野　諭、石井克昭
議員派遣先名	リファレンス西新宿大京ビル

派遣費用

科　目	支出額	摘　　要
研修・研究費	60,000 円	研修会受講料　@15,000×４名
研修・研究費	1,705 円	振込手数料 （@660 円、@110 円、@440 円、@495 円）
合　　計	61,705 円	

※旅費及び手当については都市問題会議の派遣費用に計上

１　三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

三原市の令和５年度決算カードによると、標準財政規模や財政力指数、実質公債費比率、将来負担比率、基金残高など、一定の健全性は維持しているものの、人口減少と税収減少が進む中で、今後の行政サ-ビス水準の維持と財源確保の両立が課題となっている。

特に、依存財源の割合が高く、地方交付税や国・県補助金に頼る財政構造が続いており、自主財源の拡充策が求められている。また、各種補助金や委託費、積立金の使途・配分の透明性を高めることも市民理解の促進につながる重要な課題である。

こうした状況をふまえ、財政の現状を正確に把握し、議会質問や政策提案の際に財政的裏付けをもって臨むため、本研修に参加し、財政資料の見方や質疑の組み立て方について理解を深めることを目的とした。

２　実施概要　（１カ所目）

実　施　日　時	派　遣　先	リファレンス西新宿大京ビル
令和７年 10 月８日 13：30　～　16：00	担当部局	

報告内容・所感	議員研修：議員になったら確認したい役所の財政の見方と質疑の組み立て方 講師：地方議員研究会　井川晃一（元寝屋川市議会議員） 目指すべき地方財政のあり方　（出所　地方財政審議会） 地方自治体は人口減少・少子高齢化が進む長い将来を見据え、持続可能な地域社会を築いていくため、地方財政の健全化に不断に取り組み、地域社会を支える基盤を確かなものとしていかねばならない。 このため、引き続き、国と基調を合わせて、歳入面においては、地域経済の活性化により地方税等の自主財源の増加に努めるとともに、歳出面においては行政サービスの重点化・効率化に取り組んでいくことが重要である。 講師の井川晃一氏から、自治体財政の基本的な見方と、議員として質問・質疑を組み立てる際の具体的手法について実践的な解説があった。 主な項目（ポイント） １．自治体財政はまずここだけ見ればよい →財政指標のうち、財政力指数、実質公債費比率、将来負担比率、基金残高、経常収支比率など、限られた指標を重点的に確認することで、財政の健全性と自由度を短時間で把握できる。 ２．財政指標の比較は質問の種の宝庫 →近隣自治体との比較から、投資的経費や扶助費、補助金の構成比の違いを見つけると、政策の偏りや課題発見につながる。特に標準財政規模に対する補助金支出の割合や自主財源比率は質問の切り口として有効である。 ３．補助金・委託費・積立金のグレーゾーンに着目 →財政資料には、年度毎の変動が大きい補助金や委託費があり、金額の根拠や成果の検証が曖昧なケースもある。これらを精査することが、議会のチェック機能を発揮する重要な視点となる。 ４．財政が厳しいと言われたときの確認 →行政が厳しいという際、その根拠となる指標や資産が明示されていない場合がある。基金残高や経常収支比率の推移、臨時財政対策債の発行額など、具体的数値を確認し、実態を見極めることが大切である ５．質疑の組み立て方と追い詰め方 →質問は数字を根拠に、原因・影響・対応策の流れで組み立てることが効果的である。事例として、決算資料に基づき委託費増加の理由→成果の有無→翌年度予算への反映を段階的に追う質問法が紹介された。 ・入るを量りて出ずるを制す 自治体の歳入に、年度間の大きな変動はない。年度初めに「ある程度」限られた収入の範囲内で最少の経費で最大の効果を上げるのが皆さんの役割。

市政に活かせること　（まとめ）	今回の研修を通じ、三原市の財政運営をより客観的に分析するための視点を得ることができた。今後は次の点を意識して議会活動に活かしたい。 １．決算・予算資料をもとに、主要財政指標の経年比較と近隣市との比較を行い、数字から課題を導き出す。 ２．補助金・委託費・積立金の内訳を分析し、透明性と成果を問う質問を行う。 ３．財政が厳しいとの行政説明に対し、具体的な数値の裏付けを求める質問姿勢を徹底する。 ４．財政分析を通じて、限られた財源の中で優先すべき施策の方向性を提案できるよう努める。 講義全体を通じて、数字を読むだけでなく、使う視点の重要性を実感した。単に行政の説明を受け入れるのではなく、自ら財政資料を分析し、政策提案につなげる姿勢が、議会活動の質を高めるとの示唆を得た。 本研修で得た知見を活かし、今後の議会質疑・政策提言の充実を図ると共に、市民にわかりやすい形で財政状況を伝え、信頼される議会活動の推進に努めたい。

※　施設先の写真・資料等を必ず添付すること。